



2026年 5月8日 金曜日
(令和8年)

知の創造

ものづくり大学発

▷124◁

WorldSkills Competition (技能五輪国際大会) と「この大会を」存じよう者(原則22歳以下、一部の職か?)

大会 技能に関する競技大会として、アジア大会(World Skills Asia Competition)やユーロスキルズ(EuroSkills Competitions)など、この地域大会があります。U-20の大会として若年者もこの「この大会を」存じよう者が、WorldSkills Competitionは唯一の全世界レベルの技能競技大会です。この大会は、実技試験を都道府県予選として行われます。また、この大会は、日本における技能競技大会の最高峰に位置する技能グランプリという大会もありま。このように、各カテゴリーにおいて、インターナショナル大会本番はその集大成です。U-20の大会として若年者もこの「この大会を」存じよう者が、WorldSkills Competitionは唯一の全世界レベルの技能競技大会です。この大会は、実技試験を都道府県予選として行われます。また、この大会は、日本における技能競技大会の最高峰に位置する技能グランプリという大会もありま。このように、各カテゴリーにおいて、インターナショナル大会本番はその集大成です。

佐々木 昌孝 技能工学学部 建設学科 家具研究室 教授

技能競技大会と人材育成

また日本での一般的な認知度は決して高くはない。WorldSkills Competitionは、2年に1度開催されるものづくりアスリートの祭典です。直近の2024年(2026)は同大会の開催年にあたり、中国の上海市において、9月22日(火)から27日(日)にかけて第48回大会が開催されます。この1種は25歳以下)が日本を代表して同大会に臨みます。本学、ものづくり大学からも建設学科4年生の飯田瑠輝さんと石田悠稀さんの二人が、コンクリート躯体工事職種(Create Construction Work)の日本代表に選出されました。

種は25歳以下)が日本を代表して同大会に臨みます。本学、ものづくり大学からも建設学科4年生の飯田瑠輝さんと石田悠稀さんの二人が、コンクリート躯体工事職種(Create Construction Work)の日本代表に選出されました。



■技能検定と技能五輪国際大会 多くの職種で、技能検定2級の代表に選ばれる必要があり、

■技能競技大会を通じた人材育成の可能性

本学は開学以来、実際にもWorldSkills Competitionが開かれま。世代的なテクノロジーを輩出する。専門知識を有し、また、実践界各国の才能が発揮される。大きな人材は現代において各産業界で求められていると思いた、ものづくり産業を応援す。先述した技能競技大会、そのような体験が、未来に挑むには、中途半端な準備を発展させる力につながって。では到底間に合いません。大いと思えます。

佐々木 昌孝 1973年生まれ。早稲田大学大学院工学研究科(建設工学専攻)博士後期課程。博士(工学)。2026上海大会家具職種エキスパート。専門は木加工。